

BEA VOICE

20年ぶりの福岡開催にして、ラスト!
ウッドストックに憧れた若者たちの軌跡と今。



南こうせつ KOSETSU MINAMI サマーピクニック SUMMER PICNIC ~さよなら、またね~

Presented by

第一興商

9/28 福岡・海の中道海浜公園野外劇場

スペシャルゲスト

伊勢正三
イルカ
海援隊
長渕剛
BEGIN
森山良子



INTERVIEW

さなり ジャンルを自在に行き来する
みずみずしい感性のトップアーティスト

PAELLAS

ストイックな音の追究と美しきポップネスの開花
シーン最前線に立つ新作を携え、問もなく来福!

橋本裕太

集大成のアルバムを感謝とともに伝えるライブに。

LIVE REPORT

GRAPEVINE

光を巡り果てない螺旋を往き来する者たちが
完成を目指さぬ先に起こした凄まじい昂揚。

07

No.482 July 2019
The music magazine
that charms you.





July 2019 | 7 »

| TOPICS |



EXID

韓国発ガールズグループ。'14年、ファンが投稿した動画をきっかけに大ブレイク。韓国で圧倒的人気を誇るハニを中心に、可憐でエネルギッシュなパフォーマンスで魅了。EXIDと熱い夏をどうぞ。
>8/14(水) Zepp Fukuoka



ELECTRIC MUD

Vo 菊 / G 春日弘 / B 穴井仁吉 / D 兎平
ロックレジェンド、柴山俊之(菊)率いるELECTRIC MUD。5月発売のライヴアルバム『ROCK A LA MODE』は、菊の荒々しくも文学的な詩とブルースが炸裂! 全ロックファン必聴!
>8/31(土) DRUM LOGOS



ラックライフ

4人組ロックバンド。シングルはアニメとのタイアップで展開中。最新作はTVアニメ「文豪ストレイドッグス」第3シーズンのED。見た景色の全てを音楽にしながら走り続ける彼らのツアーが決定。
>9/14(土) FUKUOKA BEAT STATION



SPICY SOL

Surf Beat Musicを掲げ、様々なジャンルを取り入れたサウンドにメロウな歌声で曲を紡ぐ新世代ハイブリッド・バンド。最新曲はビーチスポート「フレスコボール」の公式応援ソング。
>9/23(月・祝) ROOMS



LEO IMAI [LEO今井 / 岡村夏彦 / シゲクニ / 白根賢一] ZAZEN BOYS

LEO IMAIの自主企画ツアーマンライヴ「大都会」、待望のツアー化! 福岡はZAZEN BOYSを招聘。何が飛び出すかは予測不能。奮ってご参加を。
>10/1(火) FUKUOKA BEAT STATION



ハンバートハンバート

プライベートでもパートナーな三児の父母。6/26にライヴ音源によるバラードベスト『WORK』をリリース&平日限定ツアーの“秋篇”決定! ライヴごとに変わるアレンジと二人の魅力をお届けいたします。
>10/10(木),11(金) イムズホール



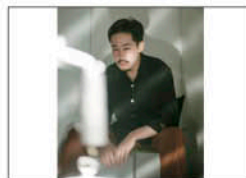
TRI4TH

“踊れる、叫べるJAZZ”を体現する音楽性でイマ最高に熱い! さらに“歌える”というコンセプトを加えたアルバム『jack-in-the-box』を7/10に発売。歌えるJAZZ! 最高じゃん!
>10/19(土) FUKUOKA BEAT STATION



ザ50回転ズ

結成15周年記念の全国ワンマンツアーが大決定。アコースティックコーナーが復活し、ツアタイ通り15年分の“おおきに”を込めた盛り沢山な内容をお届け。一緒にアニバーサリーをお祝いしよう。
>10/20(日) LIVE HOUSE CB



TENDRE

マルチプレイヤー、河原太朗のソロプロジェクト。大らかなグルーブの中に繊密なアンサンブル。自然体で艶やかに奏でられ、著名人がSNSに上げるなど話題沸騰中。10/2 発売EPのリリースツアーが決定。
>10/20(日) the voodoo lounge



フレンズ

都会的なライフスタイル、友情や恋愛をオフビートな独特コメディに仕立て上げている自称神泉系バンド。ライブ、寸劇、ダンスなどフレンズ魅力満載のエンターテインメントショーなるか?!
>11/1(金) DRUM LOGOS



弥栄

寺生まれ寺育ちのSSW。孤独に寄り添う抱擁力のある歌声で様々な場所へ歌を届ける。介護施設への慰問活動では、その志と聴き手の深い郷愁を呼ぶ音楽の力が話題に。中高年女性を中心にブレイク中。
>11/3(日・祝) 福岡市民会館



KAN

BANDスタイルでのLIVE TOUR決定。「この期におよんで更なる進化を遂げようとしているような気がするかもしれないエキセントリックなエンターテインメントショーに御期待ください」とのこと!
>11/15(金) Zepp Fukuoka

◀◀◀◀◀ 三浦大知

ドラマ「白衣の戦士!」挿入歌を収録した通算25枚目のシングル『片隅/Corner』と、自身最多公演数、最多動員数を記録したONE ENDツアーのファイナルを収録した映像作品『DAICHI MIURA LIVE TOUR ONE END in 大阪城ホール』を6/12に同時リリース。そして4都市6公演のツアーも決定。国内外問わず高く評価されている圧倒的なパフォーマンスを生で体感できるチャンスです!
>10/31(木) マリンメッセ福岡



モーニング娘。'19

6/12にシングル『人生Blues / 青春Night』、7/10にDVD『Happy Night』を発売。アイテム制覇でツアーへgo!
>11/16(土) アルモニーサーク九州ソレイユホール(2回公演)
>11/17(日) 宇佐文化会館・ウサノビア [大分]



Aimer

独特のハスキー&甘い歌声で絶大な人気を誇るAimer。8/14発売のニュー・シングル『Torches』はTVアニメ「ヴァイoland・サガ」EDに。アジアツアーも発売でますます見逃せない存在へ。
>12/6(金),7(土) 福岡サンパレスホテル&ホール



EMPIRE

WACKとavexによる共同プロジェクト。新体制になっての初シングル『SUCCESS STORY』が7/17発売。初回限定盤はまたもやカセット! 11月からは全国12都市ツアーが開幕だ。
>12/12(木) DRUM SON



ORANGE RANGE

沖縄コザ在住の5人組。『キリキリマイ』『花』などヒット曲多数。CD・DVDの売上が1,300万枚にも及ぶ言わずと知れたモンスターバンド!
>12/14(土) 佐伯文化会館 [大分]
>12/15(日) 荒尾総合文化センター [熊本]



チキンナゲツ

福岡を中心に活動中の3人組アコースティックロックグループ。昨年クラウドファンディングでサンパレス公演を成功。結成10周年を迎える今年は全国10カ所ツアー。ファイナルはもちろん福岡。
>12/20(金) Zepp Fukuoka

P I C K U P !



Suchmos 監督公演
ARENA TOUR 2019
7月15日(月・祝) 福岡国際センター



THE YELLOW MONKEY
THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2019
~GRATEFUL SPOONFUL~
7月13日(土)・14日(日) マリンメッセ福岡

怒髪天
10月26日(土) 鹿児島SRホール
10月27日(日) 小倉 FUSE
1月13日(月・祝) 福岡 嘉穂劇場



森口博子
ライブツアー2019 お届け! Summer おつかれ Summer!!
メンバー: 橋本大 [Dr] / 佐々木秀典 [Gtr] / 藤原謙 [Ba]
斎藤たかし [Dr] / 斎藤雅樹 [Sax] / 石井真 [Tp] / 池田雅博 [Bj]
8月17日(土) 福岡 Gate's 7 [2回公演]



INORAN
TOUR 2019「COWBOY PUNI-SHIT」
9月16日(月・祝) 福岡 DRUM Be-1



manaco [2回公演]
9月16日(月・祝) 福岡 Early Believers

ナードマグネット
さいきょうツアー ゲストあり
10月19日(土) 福岡 graf

下川みくに
9月7日(土) 福岡 LIV LABO [2回公演]



RHYMESTER
KING OF STAGE VOL.14 47都道府県 TOUR 2019
7月27日(土) 佐賀 GEILS
7月28日(日) 鹿児島 SRホール
11月2日(土) 大分 DRUM Be-0
11月3日(日・祝) 長崎 DRUM Be-7
12月21日(土) 福岡 DRUM Be-1



BugLug
8月23日(金) FUKUOKA BEAT STATION
11月10日(日) 鹿児島 SRホール
11月24日(日) 沖縄 桜坂セントラル

BugLug
8月23日(金) FUKUOKA BEAT STATION
11月10日(日) 鹿児島 SRホール
11月24日(日) 沖縄 桜坂セントラル

CANTA
2019年 秋ツアー
10月12日(土) 福岡 DRUM Be-1



Plastic Tree
9月21日(土) 熊本 B.9 V1
9月22日(日) 福岡 DRUM LOGOS

WEAVER
"10 2" TOUR 2019 [I'm Calling You~流星グループ~]
9月14日(土) 福岡 DRUM Be-1
9月15日(日) 熊本 B.9 V2

宇崎竜童
9月15日(日) 佐賀 鳥栖市民文化会館
9月16日(月・祝) 宮崎 日向市文化交流センター

夜の本気ダンス
7月20日(土) FUKUOKA BEAT STATION

サマーピクニック
History

1981.7/26 熊本県阿蘇郡産山村「卑弥呼の里」
ゲスト:伊勢正三・五十嵐浩晃

1982.8/7~8 熊本県阿蘇郡 坊中キャンプ場
ゲスト:アルフィー・サザンオールスターズ
山下久美子・ロバード・高田渡・阿呆鳥

1983.8/6~7 熊本県阿蘇郡 坊中キャンプ場
ゲスト:伊藤さやか・松山千春・長瀬剛
伊勢正三・加川良・小西博之
清水由貴子・岩崎雄一

1984.8/4~5 福岡県宗像郡津屋崎町 彫刻の岬「恋の浦」
ゲスト:武田鉄矢・中原めいこ・子ヤゲ&飛鳥
宇佐元恭一・小室等・畑正憲・畑明日美

1985.8/3~4 福岡県宗像郡津屋崎町 彫刻の岬「恋の浦」
ゲスト:長瀬剛・中村あゆみ・杉田二郎
杏里・ZIG ZAG 倉橋ルイ子・近藤正臣

1986.8/2~3 福岡県宗像郡津屋崎町 彫刻の岬「恋の浦」
ゲスト:松山千春・ハイ・ファイ・セット・BOOWY
小堺一機・下田逸郎・かまやつひろし
ゼロスベクター・ラフ&レディ

1987.7/25~26 福岡県福岡市 海の中道海浜公園
ゲスト:吉田拓郎・ふきのとう・伊藤かずえ
CLAXON・高井麻巳子・安藤秀樹

1988.7/23~24 大分県 久住高原沢水キャンプ場
ゲスト:沢田研二・ラフィン・ノース・C-C-B・ゆうゆ
ブレッド&バター・De-LAX・真璃子
伊勢正三・ZIG ZAG

1989.7/29~30 熊本県荒原市 三井グリーンランド
ゲスト:BAKUFU-SLUMP・THE TOPS
永井真理子・ANGIE・ZIG ZAG・勝誠二
伊勢正三・喜門達夫・ピンクの電話

1990.8/11~12 福岡県福岡市 シーサイドももち
ゲスト:松山千春・五十嵐浩晃・中村あゆみ・植太郎
吉田拓郎・井上陽水・喜門達夫・Dig it・CHAGE&ASKA
ふきのとう・村下孝蔵・杉田二郎・小室等
宇佐元恭一・永井雄姿・下田逸郎・石川鷹彦・風
イルカ・山本コウタロー

サマーピクニックドリーム
1999.8/8 福岡県福岡市 香椎パークポート特設ステージ
ゲスト:松山千春・吉田拓郎・井上陽水・喜多郎
伊勢正三・山本潤子・財津和夫・石川鷹彦
DIAMANTES・速水けんたろう・かばちや商会
山田パンダ

サマーピクニックフォーエバー in つま恋
2009.9/20 静岡県掛川市 つま恋
ゲスト:伊勢正三・イルカ・島崎幸之助
ムッシュかまやつ・森山良子・尾崎亜美・松山千春
小田和正・山本潤子・加川良子・BEGIN
シークレットゲスト:加藤和彦・杉田二郎

サマーピクニック Love & Peace
2014.9/27 大阪府枚田市 万博記念公園東の広場
ゲスト:松山千春・さだまさし・森山良子・イルカ
横原敬之・伊勢正三・太田裕美・杉田二郎・大野真澄
シークレットゲスト:ムッシュかまやつ・ももいろパルサーズ

1990年8月11~12日 福岡市シーサイドももち

2009年9月20日 静岡県掛川市つま恋

2009年9月20日 静岡県掛川市つま恋

1981年7月26日 阿蘇郡産山村「卑弥呼の里」

1999年8月8日 福岡市香椎パークポート特設ステージ

南こうせつ [みなみ こうせつ]
'49年生まれ、大分県出身。'70年デビュー。直後に「かぐや姫」を結成し、「神田川」「赤ちようちん」「妹」等数々のミリオンセラー楽曲を生んだ。かぐや姫解散後もソロとして「夏の少女」「華一夜」等多くのヒット作品を発表。'75年静岡県つま恋で国内初の野外オールナイトコンサートを吉田拓郎と共に開催。'81年からはサマーピクニック、'86年からは広島ピースコンサートとロングレンジのビッグイベントを次々と手がけた。デビュー50周年を迎えた今もコンサートツアーを中心に精力的に活動中。現在自らは九州で田舎暮らしを行い、一個人として自然に向き合う暮らしの中で独自の価値観を構築し、多くの共感を得ている。



南こうせつ

取材文/山崎隆美



20年ぶりの福岡開催にして、ラスト！
ウッドストックに憧れた若者たちの軌跡と今。

「さよなら、って言い切っちゃうと寂しいんじゃないかっていうことで、またね、と入れたんです」
今年、20年ぶりに福岡で開催される「南こうせつサマーピクニック」。阿蘇産山村で第1回が開催されたのは、フジロックが誕生する20年近くも前、81年のことだ。不慣れた場所、誰か出てくれるのか、お客さんは集まるのか...不安材料はいくつもあったろうが、伝説的な「つま恋オールナイト」や日本人ソロアーティストとして初の日本武道館公演を敢行したバイオニアは、このサマーピクニックも見事成功へ導き、90年までの10年間に渡って九州に定着させた。99年の復活後は節目ごとに開催してきたが、ついに今回をもって最後かな...と語る。

「理由はねえ、70(歳)になったら解ると思いますが(笑)。なんか、ちよっと違うんだよね。60になったときは平然と乗り越えて、全然大丈夫と思っただけ。野外で、万単位の人の前で歌うってことは体力も喉も非常に使うので、サマーピクニックとしてはラストかも、という気持ちです」
そもそもサマーピクニックとは何を指したものであったのか。欧米のロックやフォークに憧れたプロテストソングに強い影響を受けた南にとって、フェスの原型は無論「ウッドストックフェスティバル」(69年)である。その憧憬を胸に、サマーピクニックでは音楽ファンとの間に親密さや信頼感を育んだ。

「僕のファンを呼んだ、ということじゃなく、世代を超えてとんでもないところまで最初からあったんです。だからゲストも、フォーク寄りの人ありロック寄りの人あり、BOOWYやサザン(オールスターズ)も出てる。あのラフィン・ノーズもね」

(笑)。そこに松山千春が来たり、(井上)陽水が来たり。ジャンルを決めず、音楽的な差別をしないいろいろな人に出てもらったから、出てくれる方々もいいですよ!嬉しい!と軽いノリでOKしてくれて。そうやってくうちに、お客さんもある意味で育っていったというか。お客さんも僕と同じような感覚でゲストを迎えるから。どんなアーティストが来ても、すくくウエルカムな空気が来ようがラップが来ようが、クラシックが来ようが、全体を愛していくということ。そういうフェスにならないと、寂しいでしょう?」
そんな音楽に対する寛容さや食欲は、当時の活動全般に表れていて、バーナナリティーを務めていたラジオの深夜放送では、2時間の放送の中で自分の曲は1曲しかかけないで、あとはいろいろなアーティストを紹介していました。たとえば「チヨリップの新曲がすくくいいから聴いて!とか、エンケン(遠藤賢司)さんのすくくいいアルバムがある」とか。マニアックなフォークもすくくかけた。欧米の曲でもフェアポート・コンベンションとかステイ・フォー・パートナーとか、ヒットチャート外の曲もコレがいいアレがいいって極力かけたね」というから、なんと魅力的な音楽空間であつたらうと垂涎する。そして、今年2月にリリースされたデビュー50周年を迎える新作「いつも歌があつた」には、そういった音楽から受け継いだ歌のコア(核)、民謡のように土地と人に育まれた旋律やリズムの豊饒さが如実に聴いてとれる。

「50年を振り返ってみると、僕の中には特定のジャンルに偏らず、いつも歌があつて、楽しい時も悲しい時もいつも寄り添ってくれていた。そういう今自分の中に残ってるものを、自然と、今回のアルバムで出してみたいと思っただけです。小学校4年生の時に洋楽に目覚めて、中学生の時からギターを

持つて、いろんな曲をコピーして歌って。その頃の影響というのはいまだにかなり自分の中にある。その最たるが、やっぱりフォークミュージックの、すくくメッセージのある詞。それまで僕が憧れた洋楽は、プレスリーやコニー・フランシス、リック・ネルソンとかのラフソング的な詞だったけど、フォークを聴いて、戦争や人種差別に歌で言及してるのを初めて聴いた。衝撃でした。そこは今作にも色濃く反映されていると思います。ただ、それもね、意識はしてないんです。心を本当の更地にしたら、こういうアルバムになっちゃった」
今作の滋味深さは、原点とは違う、土や葉や木の枝やたぐさんの命が積み重なった地層から浸み出る真水のようなものだろう。加齢や肉体の衰えは自然のこと。でも歌いたいとか、皆と一緒に時間を共有して歌を通して幸せになりたいっていう思いは、絶対に年をとらない。逆に研ぎ澄まされていく」というピュアネスの清々しさも含めて、最後のサマーピクニックにも、同じ希いをもつて立つ。

「主催者としては天候をはじめ心配事はかりだけ...」
何にも代え難い充足感と終わりの切なさとしつかりと抱きしめて帰還することができたなら、これほど幸福なことはない。コンサートも、人生も。9月28日、数多のオーディエンスとその幸福を共有できることが、今は楽しみでならない。

2019
南こうせつ
KOSETSU MINAMI
サマーピクニック
SUMMER PICNIC
~さよなら、またね~
Presented by
第一興産

ついに今年、開催!
9/28
福岡・
海の中道海浜公園野外劇場



追加ゲスト決定!
長瀬剛
イベントの詳細は
オフィシャルサイト
<https://www.bea-net.com/sp/>
▶▶▶





New Album
SICKSTEEN
A-Sketch
6.5 ON SALE

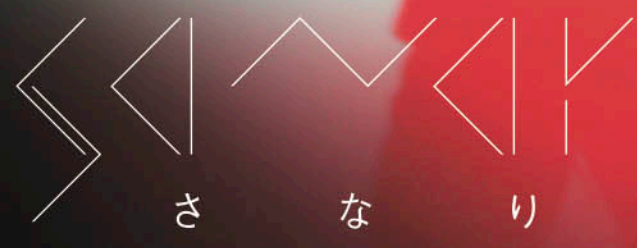
昨年10月にメジャー・デビューし、新世代のラップアーティストとして大きな注目を集めている。さなり。アンノニな佇まい、メロウにもポップにもロックにも自在に行き来できる独特の歌声。02年生まれの16歳、小学校低学年の頃から、ビートボックスやボーカロイド、ラップといった、さまざまな動画をYouTubeなどを通して縦横無尽に楽しみ、自分でも程なくオリジナル動画を投稿。その動画投稿収入で自家用のパソコンを購入したという生粋のデジタル・ネイティブだ。加えて、中学に入ってから「先輩に誘われて始めた」というフリースタイルラップの面白さに耽溺。「遊びの一種」でほとんど毎日、24時間、友だちと一緒にラップをやって「いた」という「とにかく面白かった。フリースタイルもそうですけど、歌詞を書いたり、曲作ったり、それを録ってネットにアップしたり。ただ、そんな時間も中学2年の引越して、スバットと併走してしまっただけでね」。転校先では、音楽仲間も少なく、ほとんど一人。「音楽、

外にもあんまり出なかつたし、フリースタイルで遊ぶ人もいねえな。暇やなあと思ってるからさ。本格的に(楽曲制作に)取り組み始めたのは、そんな中で完成させた曲の一つを引っ掛けて、18年1月A-Sketch主催のラッププロジェクト「OverFlow」で見事グランプリを獲得し、現在に至る。「でも、自分としてはすんなり行ったという感覚はあんまりなくて。やっとな、か...と笑。なんか昔から夢見がちなんです。根拠のない自信。的なものがずっとあるというか。そこはこれからも多分変わらないんじゃないかな(笑)」。6月5日には待望の1stアルバム「SICKSTEEN」をリリース。今作には「韻の踏み方、フロウ、トラック：全部が新鮮で勉強になった。自分の引き出しが増えた」と語る。「憧れのS・E・P・プロデュースによるメジャーデビュー・シングル『悪戯』をはじめ、WEAVER・杉本雄治プロデュースによる『Mayday』やMEG・保本真吾(CHEKSINTH)・MUM BRIDGE、松隈ケンタらスコップのクリエイターたちがこぞって参加した曲がスワリ。

「自分かほんとに好きな曲。やりたいジャンルでやりたいように作った曲をほとんど詰め込んでいたアルバムです」との言葉通り、バラエティ豊かな全11曲が収録されている。「誰にでも心の開き、痛みはあると思います。でも、だからこそ、そんなこと別にいいんじゃない?、みたいな、あえて適当に受け取りたい。そうすることでポジティブな方に持っていきたい。そんな感覚があるかもしれないですね。10月からは初めての全国ツアーも決定。「僕自身、初めての場所もあるので、未知の世界」をすごく楽しみにしています。ラッパーのひとが、フリースタイルが上手い人以外にはなかなか伝わらないんですけど(笑)、露骨に音とかを合わせない韻の踏み方とかも結構やっているんで、その辺りにも注目しながら聴いて貰えると嬉しいかも」。ちなみに今後は「韓国のトラックメイカー、GroovyRoomのような音が出せるようになってほしい。MVの撮影にも挑戦してみたい」と夢は広がる一方のさなり。是非、今後の活躍にも注目したい。



写真プレゼント。
応募方法はP.11をチェック!



ジャンルを自在に行き来する
みずみずしい感性のラップアーティスト。

取材/文: なかしまさお

LIVE!

詳しくは「BEA WEBサイト」をご覧ください。

さなり 1st LIVE TOUR 「SICKSTEEN」
11.2(土) 福岡 ROOMS

さなり

11月16日生まれ。アーティスト名の由来は「ひらがな3文字か4文字で、覚えやすく(ネットで)検索しやすいモノにしたかった。深い意味はない」。自身の曲以外にも私立恵比寿中学への楽曲提供、富士みらい「大嫌い feat.さなり」にフィーチャリングとして参加するなど、幅広い活動を展開。今年1月には10代に人気の恋愛リアリティ番組「白雪とオオカミくんには騙されない」(AbemaTV)にも出演。「前代未開の規約違反」で大きな話題を呼ぶと同時に多くの視聴者に感動を与えた。
<https://sanaridayo.com/>



PAELLAS

スティックな音の追究と美しきポップネスの開花
シーン最前線に立つ新作を携え、間もなく来福!

取材/文: 山崎聡美



写真プレゼント。
応募方法はP.11をチェック!

アンサンブルの深奥へと通ずる豊かな生楽器の音色と、多彩でイマジネイティブなエレクトロの音色とが、精緻なタペストリーを編むように縦横に広がる。PAELLASの新作『sequential souls』は、スティックな音の追究とこれまでのポップネスの開花、新たな世界観への到達を、聴くほどに感じさせる意欲作だ。アルバムとしては1st『Pressure』から2年半ぶりのリリースとなった今作で、まず変わったのは制作の過程だったという。「これまではセッションで作ったりとか、ギターのAnanが一人で作るパターンが主だったんですが、去年、今作のバイロットとして配信で出した『Orange』はbisshiが手がけて、『Weight』はRyosukeくんとAnanが二人で手がけることで、二人のプロジェクトが新たにできて。メロディもそれぞれが曲を作ってく段階でつけていて、それに僕が歌詞を描くという(やり方)。これまでは僕がメロディをつけることが多かったんですが、その過程で果たして、この曲にこのメロディで正確なのか?と、作曲者の本意のものがどうかってところも悩むことも多かった。だから今回、曲とメロディという安心材料を揃えてもらって、僕はすごくやりやすかったです」(MATTON、以下同)。

インディーR&Bやハウスに傾倒していた『Pressure』と比べ、「リファレンス的にはニューソウルとかのほうが近い。最近のシーンの音作りやハウスの時代的な音を参照している部分もあるけど、全体的なトーンはけっこうカチンと通ずる豊かな生楽器の音色と、多彩でイマジネイティブなエレクトロの音色とが、精緻なタペストリーを編むように縦横に広がる。PAELLASの新作『sequential souls』は、スティックな音の追究とこれまでのポップネスの開花、新たな世界観への到達を、聴くほどに感じさせる意欲作だ。アルバムとしては1st『Pressure』から2年半ぶりのリリースとなった今作で、まず変わったのは制作の過程だったという。「これまではセッションで作ったりとか、ギターのAnanが一人で作るパターンが主だったんですが、去年、今作のバイロットとして配信で出した『Orange』はbisshiが手がけて、『Weight』はRyosukeくんとAnanが二人で手がけることで、二人のプロジェクトが新たにできて。メロディもそれぞれが曲を作ってく段階でつけていて、それに僕が歌詞を描くという(やり方)。これまでは僕がメロディをつけることが多かったんですが、その過程で果たして、この曲にこのメロディで正確なのか?と、作曲者の本意のものがどうかってところも悩むことも多かった。だから今回、曲とメロディという安心材料を揃えてもらって、僕はすごくやりやすかったです」(MATTON、以下同)。

PAELLAS (ハエリアス)
MATTON (Vo.), Satoshi Anan (Gt.), bisshi (Ba.), Ryosuke Takahashi (Dr.) から成る4ピース。MATTONとbisshiを中心に大阪で結成、14年より東京を拠点に本格始動。精力的に制作、ライブを続け、16年12月に1stアルバム『Pressure』をリリース。2枚のEP『D.R.E.A.M.』(17年)、『Yours』(18年)を経て、今年6月2ndアルバム『sequential souls』を発表。様々な年代やジャンルの要素を独自のセンスで解釈し、都市の日常、心象風景にフィットするサウンドを生み出している。
<https://paellasband.com/>



New Album
sequential souls
ユニバーサルミュージック/
EMI Records
6.5 ON SALE

LIVE!

詳しくは「BEA WEBサイト」をご覧ください。

PAELLAS
"sequential souls
RELEASE TOUR"

7.12(金) 福岡 INSA

GRAPEVINE

tour 2019
2019年6月8日(土) 福岡DRUM LOGOS

光を巡り果てない螺旋を往き来する者たちが
完成を目指さぬ先に起こした凄まじい昂揚。

文：山崎聡美 写真：勝村祐記

SET LIST

- M1. こぼれる / M2. Alright / M3. FLY
- M4. I must be high / M5. Reason
- M6. ミチバシリ / M7. Asteroids
- M8. リトル・ガール・トリートメント / M9. Big tree song
- M10. スカイライン / M11. 弁天 / M12. 雪解け
- M13. 開花 / M14. 夏の逆襲 / M15. Era
- M16. Good bye my world / M17. ジュブナイル
- M18. God only knows / M19. 光について
- M20. すべてのありふれた光

EN1. smalltown.superhero / EN2. 少年 / EN3. Arma

福岡でのG20の厳戒態勢を尻目に「こっちのG」に集まってきてありがとう」と田中和将が謝辞を述べる盛況ぶりを見た、最新作『FALL THE LIGHT』ツアーの福岡公演。幕開けには田中、西川弘嗣、亀井亨のみが登場し、拍手で迎えたオーティエンズが固唾を呑んだ瞬間、その静寂を切り裂くように奏でられた『こぼれる』。エレキギター弾き語りという原曲の特質さを増幅させ、冒頭からクレイフバインというバンドへの概念をぶつ壊す。熱の帯びる様を弾き狂ったギターの音色で表現した田中と西川、タイトなテンションを保ち続け会場中の気を一瞬も逸らさなかった亀井、加えて歌の凄烈さと求心力を露にしたヴォーカリエーション。概念の破壊と同時に新たな可能性を提示し、創造性を構築する幕開けだった。金戸覚と高野勲が加わった新作リード曲『Alright』では、サイケデリック感とグルーヴも増幅させて肉体への訴求力も一気に高める。ロックの奥深き懐の探求を築くようなカラフルなシーンが続く、ギターからテルミンまで高野のマルチぶりも早々に発揮されていく。

元号過ぎの本ツアーをネタに「平成からやってますって言うんですけど古いバンドみたいやな」と笑いつつも「寝たい人は寝る、歌いたい人は歌う、踊りたい人は踊る。大切な人を思い浮かべるも、大嫌いな人に呪いをかけるもよし。いつも通り、好きなように。音楽へのリアクションをよろしく」と『Reason』へ。爽快ささえ覚えるアレンジが曲の後半に大きく展開。西川と田中のカッティングの応酬

に始まる、緊張感溢るアンサンブルの激しい鼓動に会場が引き込まれ響き、それを受けた新作の『ミチバシリ』『Asteroids』でも楽曲が内包するカウンター性を鮮やかに音像化、圧巻のバンド力を見せつけた。音とメロディと歌が渾然一体となりダイナミズムを露した中盤、亀井の瞬発力は打ち震えるほどで、常に歌との絶妙な距離感でフレーズを刻む金戸のヘーイスは色気と頼もしさを醸し、西川は音色もリフも予測不能の危うさを孕んで静かにクレイジー、田中は『開花』で祈りを託すゴスペルの佇まいのみならず原始的な歌の魔力にまで到達した。『Era』では、漣のようなやさしいコーラスが起りバンドに寄り添った。聴き手への能動的なアクション、それを起こした『Era』という発展的な楽曲。全てが歡喜に満ちた奇跡だ。

本編ラストは『光』を巡り果てない螺旋を往き来する二つの名曲で締め、さらに全てのエモーションを受け止めそれぞれの物語へ昇華するような『Arma』のカタルシスを以っての大団円。「何も目指してないんですよ。自分たちが面白く思えることをやっただけで——もはや、という顔で終演後、田中はそう言った。完成も安定も望まぬ先には音楽の昂揚あるのみ。身を尽くしそれを示してくれた濃密な2時間だった。



8月に1stアルバム『CHANGE』をリリースする橋本裕太。待望の1stアルバムには、デビューからの2年間が詰め込まれている。「改めてデビューからの2年間を振り返り、一番強く感じたのが『変化』です。沢山の方と出会えた事、挫折を知った事、そしてこれからもっと変わっていきたくて、さまざまな変化が、今までの、これからの僕を象徴する言葉になるのではないかと思います。『変化』をテーマにしました。バラエティに富んだ全12曲が収められた今作には、おもちゃ箱」という裏テーマもあったそう。その理由をこう語る。「形も用途も違っても、僕達が一つの箱に集結している、見てるだけでワクワクする感覚を、楽曲で伝えたいからです。曲



橋本裕太

集大成のアルバムを感謝とともに伝えるライブに。

取材/文：荒木英喜

LIVE! 橋本裕太 LIVE TOUR 2019 ~あなたに花束を~
8.10(土) 福岡DRUM SON
ゲスト / 10神ACTOR・坂田隆一郎

橋本裕太(ハジメトユウタ) SNSにアップしたオルゴールカバー動画が話題となり注目を集める。17年8月、シングル『NEW WORLD』でデビュー、iTunesチャートで初登場5位を記録。そのやさしい歌声はメルティボーイと並び、10~20代の女性を中心に人気を得る。その歌声に加え、180cmの長身と甘いルックスでもファンを魅了している。今年、さらなるブレイクを期す本作のリリースだ。
<https://hachimotoyuta.com/>

BEAのWEBサイトが新しくなりました。



- 行きたいコンサートがサクサク探せる!
- チケットの購入方法がわかりやすい!
- 近日中にあるライブもチェックできる!
- BEA VOICE 最新号がWEBでも読める!

もっと見やすく、もっと使いやすく
www.bea-net.com
BEA 検索

SNSでも情報更新中 ▶▶▶ @beatx @BigEarAnts

新チケット先行予約サービス開始! BEA WEB [ビューエフ]

会員登録・年会費 無料 / 最新情報をメルマガでお届け!



この他にも受付公演が続々と決定中! チケットをGETするなら今がチャンス!

takägi presents

TGC

KITAKYUSHU 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION

Celebration!

2019.10.5 SAT.

5th Anniversary

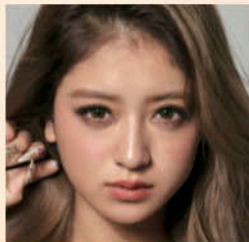
10月5日(土) 西日本総合展示場新館

開場 12:30
開演 14:00

GUEST MODEL



新木優子



池田美優



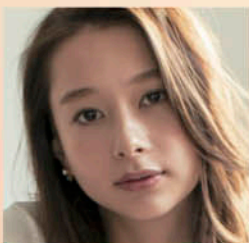
江野沢愛美



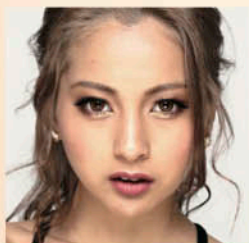
新川優愛



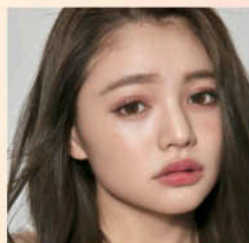
鈴木愛理



Niki



ゆきぼよ (木村有希)



吉木千沙都



ARTIST

IZ*ONE

and more... (※50音順)

指定席 オリジナルノベルティ、ルミカライト付

先行価格 **¥10,000** / 一般価格 **¥10,500**

スタンディング自由 ルミカライト付

先行価格 **¥7,000** / 一般価格 **¥7,500**

今ならチケット
¥500 OFF!

※全チケット、売り切れ次第販売終了となります。
※4歳以上はチケットが必要です。 ※女性向けイベントの為、男性のみでのご入場はご遠慮ください。なお、ランウェイ沿いの最前列は女性のお客様優先とさせていただきます。

TICKET

BEA WEB先行 7月6日(土)10:00~8月16日(金)23:59

無料会員登録必要

一般発売 8/17(土)10:00~ LINE TICKET・ローソンチケット・チケットぴあ・イープラス・Yahoo!チケット・楽天チケットにて

[チケットのお問い合わせ] BEA 092-712-4221 www.bea-net.com